

NY マーケットレポート (2017年7月3日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ISM 製造業景況指数が 2014 年 8 月以来、約 3 年ぶりの高水準となったことや、米国債利回りが上昇したことを受けて、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、米ダウ平均株価が取引時間中の最高値を更新する動きとなったことも加わり、クロス円も堅調な動きとなった。その後は、米国の独立記念日を翌日に控え、米株式市場や債券市場が短縮取引となったこともあり、ドル円・クロス円は終盤までもみ合いの動きが続いた。なお、カナダ市場はカナダ・デー(建国記念日)の祝日で休場となった。

2017年7月3日(月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.79	112.87	112.20
EUR/JPY	128.52	128.62	128.09
GBP/JPY	146.70	146.84	145.91
AUD/JPY	86.48	86.52	86.14
EUR/USD	1.1395	1.1427	1.1393

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.08	112.79
EUR/JPY	128.62	128.37
GBP/JPY	146.72	146.30
AUD/JPY	86.57	86.40
EUR/USD	1.1395	1.1362

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.45	113.47	112.85
EUR/JPY	128.95	128.96	128.33
GBP/JPY	146.83	146.93	146.28
AUD/JPY	86.88	86.95	86.46
NZD/JPY	82.79	82.84	82.36
EUR/USD	1.1366	1.1376	1.1355
AUD/USD	0.7659	0.7666	0.7645

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21479.27	+129.64
S&P500	2429.01	+5.60
NASDAQ	6110.06	-30.36
日経225 (CME)	20145	+80
トロント総合	休 場	
ボルサ指数	50109.16	+251.67
ボベスパ指数	63279.58	+379.61

*米株式市場は短縮取引、カナダ市場は建国記念日で休場

7/4 経済指標スケジュール

08:50	【日本】6月マネタリーベース
10:30	【オーストラリア】5月小売売上高
13:30	【オーストラリア】政策金利発表
16:30	【スウェーデン】政策金利発表
17:30	【英国】6月建設業PMI
18:00	【欧州】5月生産者物価指数
22:00	【メキシコ】5月景気先行指数
02:00	【ニュージーランド】6月QV住宅価格

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1219.20	-23.10
NY 原油	47.07	+1.03
CME コーン	388.50	+7.50
CBOT 大豆	980.75	+26.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.410%	1.370%
3年債	1.584%	1.520%
5年債	1.932%	1.850%
7年債	2.189%	2.100%
10年債	2.350%	2.270%
30年債	2.867%	2.820%

*米国債市場は短縮取引

ドイツ10年債	0.476%	0.448%
英国 10年債	1.264%	1.248%

7/4 主要会議・講演・その他予定

・米市場休場 (Independence Day)

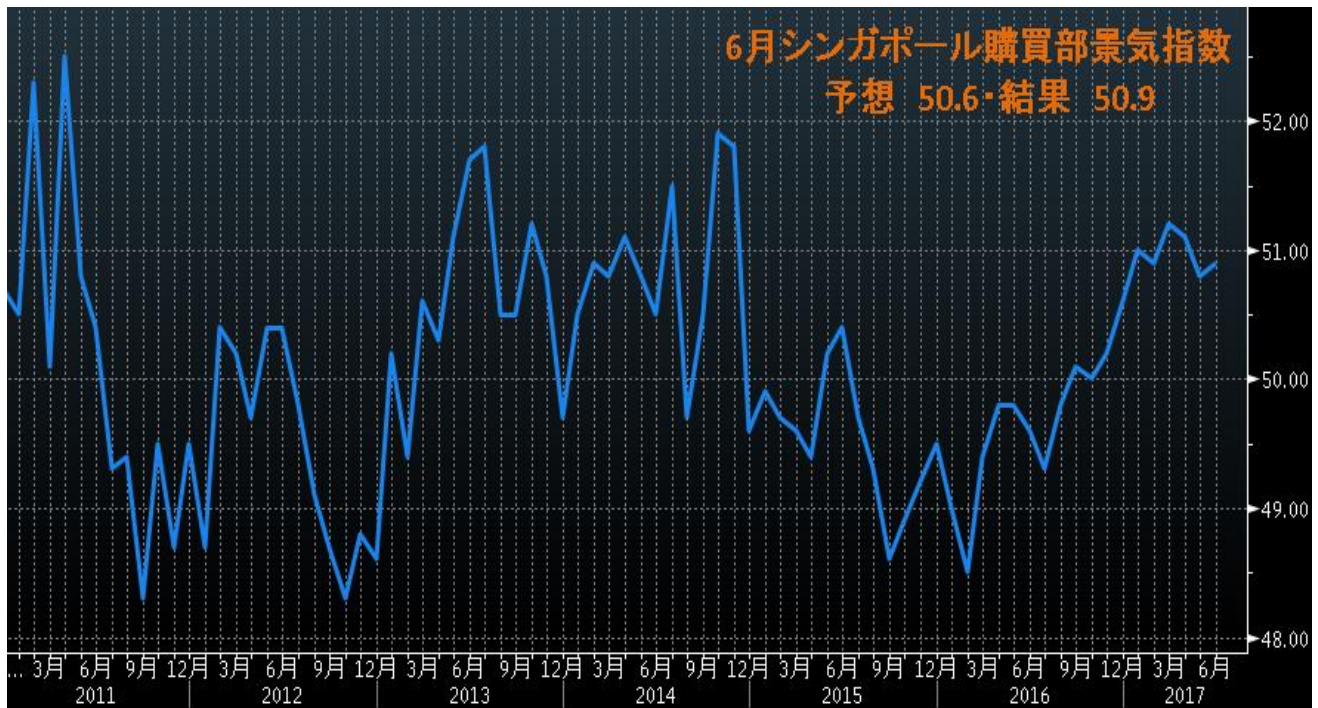
NY 市場レポート

22 : 00

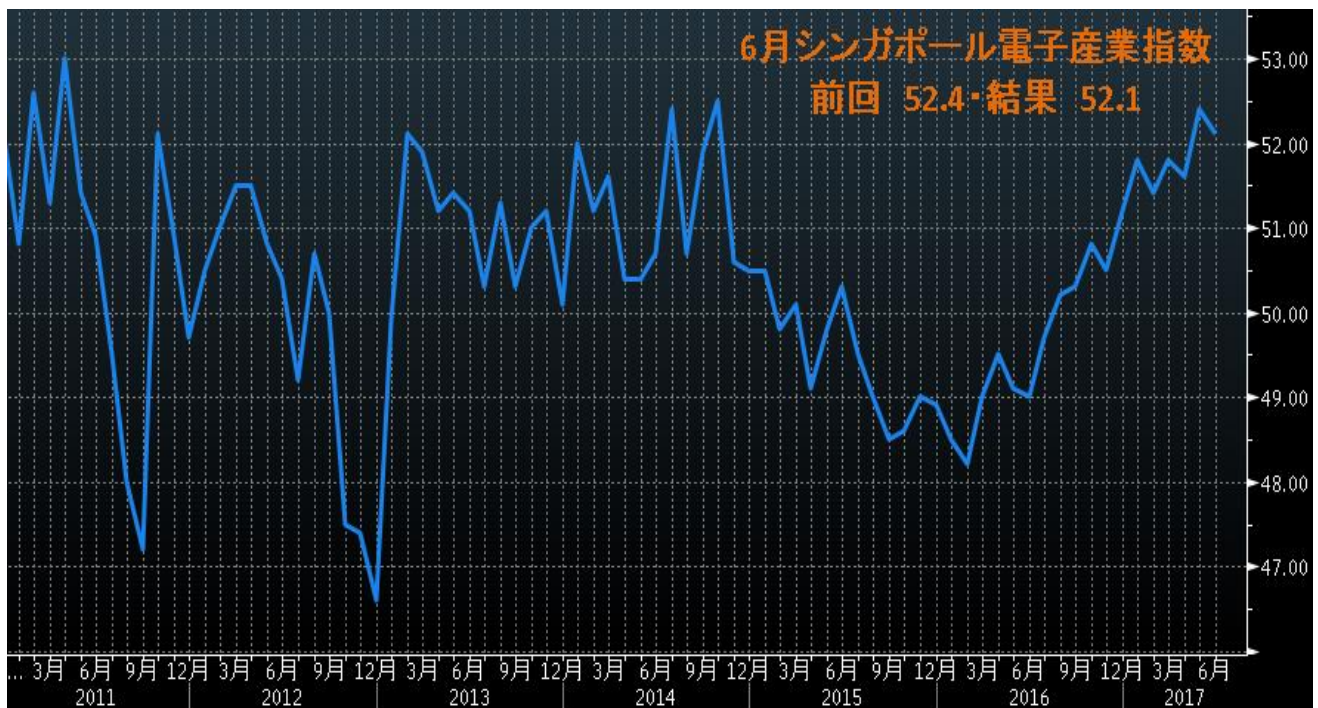
◀ 経済指標の結果 ▶

6月シンガポール購買部景気指数 50.9 (予想 50.6・前回 50.8)

6月シンガポール電子産業指数 52.1 (前回 52.4)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

6月マークイット米国製造業 PMI 52.0 (予想 52.1・前回 52.1)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米ISM製造業景況指数 57.8 (予想 55.3・前回 54.9)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

＜米 ISM 製造業景況指数＞

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
景気	57.8	54.9	54.8	57.2	57.7	56.0
価格	55.0	60.5	68.5	70.5	68.0	69.0
生産	62.4	57.1	58.6	57.6	62.9	61.4
新規受注	63.5	59.5	57.5	64.5	65.1	60.4
受注残	57.0	55.0	57.0	57.5	57.0	49.5
入荷遅延	57.0	53.1	55.1	55.9	54.8	53.6
在庫	49.0	51.5	51.0	49.0	51.5	48.5
雇用	57.2	53.5	52.0	58.9	54.2	56.1

6月米 ISM 製造業景況指数は、市場予想の 55.3 を上回る 57.8 となり、2014 年 8 月 (57.9) 以来、約 3 年ぶりの高水準となった。4 月に 57.2 から 54.8 に落ち込んだが、3 カ月ぶりに 57 台に改善している。関連指数では、生産が 62.4 (前回 57.1)、新規受注が 63.5 (59.5)、受注残が 57.0 (55.0)、入荷遅延が 57.0 (53.1)、雇用が 57.2 (53.5) に上昇、仕入れ価格は 55.0 (60.5)、在庫は 49.0 (51.5) に低下。景気が全般的に改善する一方で、価格の伸びは鈍化しており、FRB には悩ましい内容となる可能性がある。

23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

5月米建設支出(前月比) 0.0% (予想 0.3%・前回 -0.7%)

前回発表の-1.4%から-0.7%に修正



出所: Bloomberg

5月の米建設支出は、前月比ほぼ横ばいの1兆2300億9400万ドルだった。前年比では+4.5%となった。民間の建設支出は、前月比-0.6%の9431億9800万ドル。前年比では+6.2%。

①住宅建設が前月比-0.6%の5096億1900万ドルとなり、一戸建て、集合住宅ともにマイナスだった。住宅以外の建設は前月比-0.7%の4335億8000万ドルとなり、教育施設、運輸関係の施設などのマイナスが目立った。

②連邦政府など公共部門の建設支出は、前月比+2.1%の2868億9600万ドルで2カ月ぶりのプラス。前年比では-0.6%となり、州・地方政府が前月比+1.7%、連邦政府は+6.4%だった。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、6月の米ISM製造業景況指数が市場予想を上回ったことで投資家のリスク志向が強まり、安全資産とされる米国債の売りが先行した。米FRBが追加利上げを継続するとの警戒感も圧迫要因となった。

午前の利回りは、30年債が2.87%（前週末2.83%）、10年債が2.34%（2.30%）、7年債が2.19%（2.14%）、5年債が1.93%（1.89%）、3年債が1.59%（1.55%）、2年債が1.42%（1.38%）。

2:00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月メキシコIMEF製造業指数 54.1（予想 48.6・前回 48.5）
 前回発表の47.6から48.5に修正

6月メキシコIMEF非製造業指数 54.5（予想 52.0・前回 52.4）
 前回発表の52.3から52.4に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、堅調な動きとなった。英 FT100 指数は、原油値上がり好感され、独 DAX 指数はドイツのメルケル首相が率いる保守与党が選挙公約で大型減税を打ち出したことで買いが膨らんだ。



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 23.10 ドル安の 1 オンス=1219.20 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金の売りが加速した。また、米長期金利の上昇も圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.03 ドル高の 1 バレル=47.07 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前週末に発表された米国内の石油掘削装置稼働数の減少が引き続き材料視され、米原油の生産拡大に対する懸念が後退して買いが膨らんだ。



出所 : Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、金融株を中心に幅広い銘柄が買われ、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。また、6 月の米 ISM 製造業景況指数が市場予想を上回ったことで、上げ幅を拡大したものの、終盤にはやや上げ幅を縮小した。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比 192 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新した。ただ、終盤にかけては上げ幅を縮小した。なお、ハイテク株中心のナスダックは、序盤堅調な動きとなったものの、その後はマイナス圏まで下落した。なお、独立記念日前日で短縮取引となった。



出所 : Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米製造業関連の経済指標が良好な結果となったことや、欧米の株価上昇を受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、米国債利回りが上昇したことも加わり、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。